

Model 20

文部科学省
研究開発局宇宙開発利用課
宇宙利用推進室長



しょうざき みか
庄崎 未果
Mika Shozaki

Profile

- 平成9年・科学技術庁入庁(1種(法律区分)採用) 科学技術振興局国際課 国際関係業務の連絡・調整
- 平成10年・文部省生涯学習局生涯学習振興課民間教育事業室 塾等の民間教育事業についての取りまとめ、生涯学習振興法関連業務等
- 平成11年・生涯学習局男女共同参画学習課 男女共同参画学習政策、少子化対策についての連絡・調整
- 平成12年・行政官長期在外研修(米国) ジョンス・ホプキンス大学ポール・ニツェ高等国際問題研究大学院
- 平成14年・文部科学省研究振興局振興企画課企画調整係長 局内の法令・制度の連絡・調整
- 平成15年・研究振興局量子放射線研究課課長補佐 原子力の研究・開発に関する企画・立案
- 平成17年・東京大学研究協力部国際課長 学内の国際化の推進、国際関係業務の取りまとめ
- 平成18年・～長男出産 産前・産後休暇、育児休業(1年2か月)
- 平成19年・科学技術・学術政策局計画官付計画官補佐 科学技術基本計画の推進、次期計画策定に向けた検討
- 平成21年・内閣府政策統括官付参事官付参事官補佐 科学技術基本計画の推進、次期計画策定に向けた検討
- 平成22年・経済協力開発機構(OECD)プロジェクト・アドミストラーター 科学技術に関する国際協力に関する会議開催等
- 平成25年・独立行政法人放射線医学総合研究所企画部次長 研究所の予算、評価の取りまとめ
- 平成27年・文部科学省大臣官房国際課国際協力企画室長 G7教育大臣会合の総括、G7を始めとする欧米諸国との関係強化
- 平成29年・研究開発局宇宙開発利用課宇宙利用推進室長 ~現在

自分が納得で

多様な職務

公務員の仕事の面白い点の一つは、多様な経験ができることだと思います。私は、科学技術庁に入庁後、省庁再編による文部省との統合が決まったことから、翌年には統合に先立ち文部省生涯学習局に出向し、その後、米国に留学して統合後の文部科学省に戻りました。帰国後は主に科学技術政策関係の仕事に携わりましたが、東京大学事務局での経験の後で産休・育休に入り、復帰してから、本省の勤務に加えて、内閣府、OECD(パリ)、研究所での業務を経験しました。一つのことを担当する期間が短いのは物足りない方もいるかも知れませんが、私自身は新しいことを学んだり、新しいネットワークを築く良い機会となるので、楽しんでいます。

ワークライフバランス

息子の出産を機に、1年2か月の育児休業をいただきました。復帰後は基本定時で退庁として、毎日ぴったりに退庁することが、自分自身にとっても職場にとってもストレスになると感じたので、週に2回は曜日を決めてファミリーサポートの支援も得ました。また、国会等でどうしても遅くなる時は、同じ役所に勤める主人に先に帰ってもらうこともありました。夫婦ともに実家が離れているため、子供が病気の時なども夫婦で交互に休みを取って対応しました。

子供が4歳の時に夫婦ともにパリに赴任となり、3年間は日本と違う環境で仕事と育児を両立しました。パリでも日本人のシッターにお迎えと預かりをお願いしましたが、それでも、日本に比べて両立している女性への理解が進んでいたことや、生活リズムの違いなどから、家族での時間を充実できたのは、大変貴重でした。

今では子供も大分大きくなりましたが、学童保育に加えてファミリーサポートとシッターを組み

きるバランスで

合わせて使っています。子供が小さかった頃よりは勤務時間が伸びましたが、それでも子供のお風呂の前には必ず夫婦どちらかが家に帰れるようやりくりしています。

先日、テレワークを数回試しましたが、通勤時間が節約でき、少しでも子供のそばにいてあげられるので、良い制度だと思いました。出勤しないと打合せはできないので、当然周囲の理解と協力も重要ですが、テレワークで対応できる仕事を計画的に切り出して対応すれば、逆に効率的だと感じました。私の場合、子供が小さい時は制度が未整備で活用していませんでしたが、子供が小さい方には、男女ともに、うまく使っていただけると良いと思います。

なぜ続けるか

家族も職場も理解があり、また海外赴任のタイミングが良かったこともあって、比較的恵まれた環境で両立をさせていただいたと思っています。一方で、家族にも職場にも負担を掛けているという気持ちは常にあり、全て中途半端になるのであれば仕事を辞めた方がいいだろうかと悩んだこともありましたが、仕事を続ける中で、こんな自分にでもできることがまだあるな、と思える場面がありました。息子の方も、こういう時お母さんにいてほしい、と思うこともあったようですが、周りにも働いているお母さんが多いためか、最近では、冗談半分に「お仕事辞めようかな」というと、「まだ

定年じゃないでしょ。」と返してくるようになりました。この子にとってはお母さんが働いているというのが普通の状態なんだなと思うと、先々頼もしい気がします。すごく忙しくてなかなか家に帰れなかった時、電話で「ごめんね、いつ帰れるか分からない。終わりが見えなくて。」と言ったところ、「終わりが見えなくても終わりはあるよ。」という名言で励ましてくれたのも、息子でした。



一日のタイムスケジュール例

- 5:30 起床、朝の準備
- 9:00 登庁
- 11:00 在京大使館との打合せ
- 12:00 昼食
- 13:30 幹部レク
- 15:00 海外との電話会議
- 16:00 来客
- 19:00 退庁
- 20:00 帰宅
- 20:30 子供と入浴
- 21:30 子供の勉強を少し見てから、子供を寝かしつけ
- 22:00 食事、家事等
- 23:30 就寝

女性職員のメッセージ

女性の参画の遅れが指摘されますが、ここ10年でも状況は随分良くなっています。仕事も育児も、自分だけのためのものでも、他の人だけのためのものでもありません。自分が納得できるバランスを発見してください。